

本校は、教育研究の高度化及び活性化を図るため、教育研究状況について自己点検・自己評価を行いました。平成27年度の点検評価について結果及び今後の課題を公表します。

点検のカテゴリーは9分野、67項目について、3.当てはまる 2.やや当てはまる 1.当てはまらない を尺度に3学科で評価を行い、平均値で示しています。

☆評価結果と課題

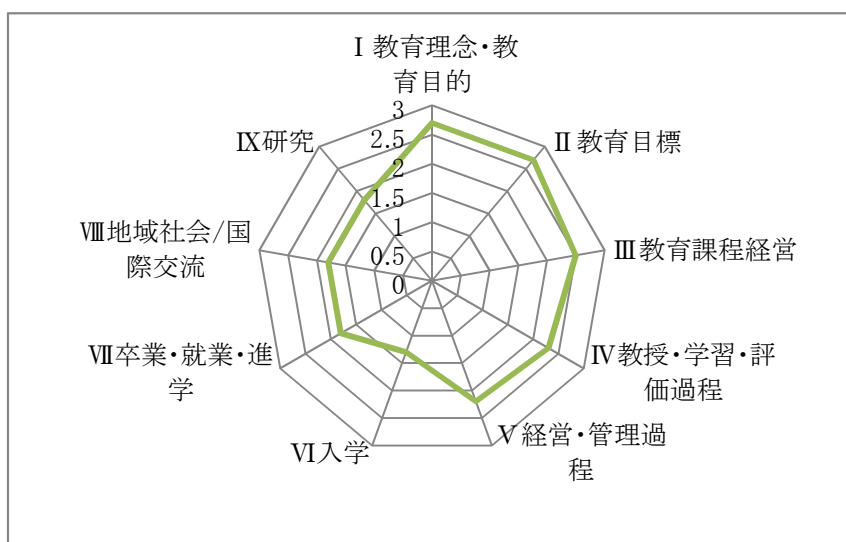
評価結果については、評価が高い領域：評価尺度平均2.5以上と、比較的評価が高い領域：評価尺度平均2.0以上2.5未満、評価が低い領域：評価尺度平均2.0未満とします。

- ◆学校全体で評価が高い領域：「教育理念・教育目的（2.7）」、「教育目標（2.7）」、「教育課程経営（2.5）」
- ◆比較的評価が高い領域：「教授・学習・評価過程（2.3）」、「経営・管理過程（2.2）」
- ◆評価が低い領域：「入学（1.3）」、「卒業・就業・進学（1.8）」、「地域社会/国際交流（1.8）」、「研究（1.8）」

評価が2.0未満の低い領域は4領域で、「入学」、「卒業・就業・進学」、「地域社会/国際交流」、「研究」です。「入学」では、受験生の動向や背景の分析、広報活動に課題が残りました。受験生への説明会の開催時期・回数を検討し、当校の魅力をアピールできるように、広報活動を検討していきます。また、どのような学生に入学してほしいのかを明確化し、広報活動につなげていきます。「卒業・就業・進学」では、卒業生の8割弱は熊本県内に就職し、地域医療に貢献しています。しかし、卒業後の活動状況を十分に把握できていません。今後就業先との情報交換や追跡調査等を検討していきます。

「地域社会/国際交流」については、ボランティア論を教育内容に取り入れ、地域のボランティアへ積極的に参加しています。ボランティアセンターからの依頼も積極的に受け入れ、ボランティア精神の向上につながっています。学生の国際的視野を広げる為のシステム作りや留学生の受け入れに関しては課題も見えてきました。

今後も、社会の要請にこたえる豊かな人間性を備えた看護師・助産師を要請できるよう自己点検・自己評価に取り組んでいきます。



授業アンケート結果【平成28年度】

本校では、平成17年より授業評価を行っています。

授業評価は、実施した授業について学生にアンケートを行い、授業内容の改善など質的向上に活かしています。

質問項目は、問1. あなた自身の授業への取り組みについて（3項目）、問2. 教員の授業の進め方について（6項目）、問3. 授業の内容について（3項目）、総合評価（1項目）です。評価項目に対し、「とてもそう思う」を問4、「そう思う」を3、「どちらともいえない」を2、「そう思わない」を1、とし4段階の評定尺度で得点化して評価をしました。

下記の表については、平成28年度に学生が授業に対し評価したものです。看護学科は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、統合分野ごとに平均値をグラフ化したものです。通信制看護学科は専任教員が担当している専門分野Ⅱを、助産学科は、全体の平均値をグラフ化しています。

